公募型河道内樹木伐採モデル事業モニタリング要領（案）

別紙５

１．目的

山形県及び山形河川国道事務所が実施する「公募型河道内樹木伐採モデル事業」に関し、公募特定者として選定した者が、適切な伐採の履行及び各種条件等を遵守していることを確認し、ビジネスモデルとしての確立に関する評価を行うため、モニタリングを実施する。

２．モニタリングの実施に関する事項

（１）モニタリングの種類

1. 伐採履行に関すること
2. 再繁茂対策効果に関すること
3. モデル事業の評価に関すること

（２）公募特定者が実施する事項

公募特定者は「イ　伐採履行に関すること」として「３．モニタリング書類の提出」に示す年度実績報告書を河川管理者に提出すること。

（３）河川管理者が実施する事項

河川管理者は以下のモニタリングを実施する。なお、河川管理者が実施する事項について公募特定者に対し協力要請があった場合はこれに応じるものとする。詳細は「別添２　河川管理者が実施するモニタリング」に示す。

①「イ　伐採履行に関すること」

河川管理者は「イ　伐採履行に関すること」について、公募特定者が提出した年度実績報告書の内容を確認するとともに必要に応じて現地確認を行う。

②「ロ　再繁茂対策効果に関すること」

枝葉等をチップ化したものをマルチング材として敷設した箇所の再繁茂状況及びマルチング材の残存状況を現地確認により把握する。

③「ニ　モデル事業の評価に関すること」

公募型河道内樹木伐採モデル事業がビジネスモデルとして確立しているかなどについてアンケート及びヒアリング等により確認し、評価する。

（４）モニタリングの頻度

モニタリングは伐採期間の各年度に実施するものとする。

（５）モニタリングに係る費用負担

公募特定者及び河川管理者それぞれが実施するモニタリングに係る費用は、それぞれが負担するものとする。

３．モニタリング書類の提出

（１）提出資料　「年度実績報告書」

公募特定者は「イ　伐採履行に関すること」のモニタリングとして本要領に添付の「別添１　年度実績報告書」を（３）担当部局のいずれかに提出すること。

※上記様式１は「公募型河道内樹木伐採モデル事業に基づく伐採者公募説明書」に添付の様式３「年度実績報告書」と同一のものである。

（２）提出時期　毎年度の４月３０日まで

（３）担当部局

山形県　置賜総合支庁　西置賜地域振興局西置賜河川砂防課

〒９９３－８５０１　　長井市高野町二丁目３番１号

電話番号　０２３８－８８－８２３３

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　長井出張所

〒９９３－０００２　　長井市屋城町４番３９号

電話番号　０２３８－８８－２３１０

（４）記載に関する留意事項

1. 伐採体制は年度を通した基本的な体制を記載すること。
2. 伐採区域は伐採面積の概ねの値を記載する他、「別添１　年度実績報告書」の図中に当該年度の伐採箇所を明記すること。
3. 年度実績報告書には伐採着手前後の状況がわかる写真を添えて提出すること。
4. 伐採木及び枝葉の利活用・処理方法については公募特定者が当該年度に実施したすべての利活用・処理方法を記載すること。
5. 年度実績報告書におけるマルチング材の敷設状況及び踏み均しの状況については、敷設及び踏み均し時からの変化等について記載すること。

４．その他

1. 枝葉等をチップ化してマルチング材として敷設を行った時は、当該作業の実施前後の状況を写真に記録し、適宜、河川管理者に報告を行うものとする。
2. 枝葉等の踏み均し処理を行ったときは、当該作業の実施前後の状況を写真に記録し、適宜、河川管理者に報告を行うものとする。
3. 年度実績報告書の内容及びその他について河川管理者から公募特定者に確認を行う場合がある。

別添－１

年 度 実 績 報 告 書

平成○○年○月○○日

山形県

置賜総合支庁建設部長　　　殿

東北地方整備局

山形河川国道事務所長井出張所長　　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（申請者）

事業者名：　　　　　　　　　　　　印

代表者氏名：

住所：

電話番号：

メールアドレス：

公募型河道内樹木伐採モデル事業に基づく伐採者公募「○○川、□□川、△△川工区」の実施状況として、平成○○年度の実績を下記のとおり報告します。

記

１．伐採体制（平成○○年度実績）

２．伐採区域（平成○○年度実績）

※「５．伐採箇所」と同じ区域を記載すること。

　　・○○川　○○○ｍ２

　　・□□川　□□□ｍ２

３．伐採木・枝葉等の利活用方法（平成○○年度実績）

別添－１

|  |  |
| --- | --- |
| 利活用財の径、樹種等 | 利活用の方法 |
| 径約15cmを超える幹部 | 例）自社に搬出し、チップ化を行い、○○○に利用 |
| 径約15cm～5cmの幹・枝部 | 例）一定の長さに切りそろえ、地域住民に無償提供 |
| 径約5cm未満の枝葉 | 例）現場でチップ化を行い、○○○に搬出し□□□として利用 |

４．その他

マルチング材の敷設状況、踏み均し、苦情など、必要に応じて

　　注）工事着手前後の状況が分かる写真を添えて提出すること。

５．伐採箇所

別添－１

下図の伐採対象範囲に、当該年度の概ねの伐採箇所を示してください。

（※年度ごとに枠で囲う、線で区切る等の方法で構いません。）





『この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号　平30東複、第23号）』

**年次伐採計画の提案方法の例**

※１部区域のみ示しています。

河川管理者が実施するモニタリング

別添－２

１．伐採履行に関すること

河川管理者は公募特定者が提出した年度実績報告書の内容を確認し、公募特定者が提案した伐採計画に則り伐採が履行されているか確認する。また、年度実績報告書の受理後又は必要に応じて、現地確認等により以下の事項について確認を行う。なお、現地確認に際しては写真等用いて適宜現地の状況を記録する。

1. 伐採実施済み区域
2. 幹や枝葉等の残置場所
3. マルチング材の敷設場所
4. 枝葉の踏み均し場所等
5. 枝葉等の不法投棄の有無
6. その他

２．再繁茂対策効果に関すること

マルチング材の敷設による再繁茂対策効果を確認するため、以下の事項について河川管理者が現地確認等を行う。なお、現地確認に際しては写真等用いて適宜現地の状況を記録する。

| 項目 | 概要 |
| --- | --- |
| ①再繁茂の状況 | マルチング材敷設箇所の再繁茂状況を確認し、マルチング材の敷設による再繁茂対策効果を確認する。 |
| ②マルチング材の残存状況 | 河川の増水によりマルチング材が流出した場合、適宜、流出状況を確認する。また、必要に応じてマルチング材敷設箇所の分布図の作成などを行い、マルチング材の残存状況を整理する。 |

３．モデル事業に関すること

公募型河道内樹木伐採モデル事業の評価を行うため、必要に応じて以下の事項について河川管理者が公募特定者にアンケート調査又はヒアリング調査を行う。

| 項目 | 概要 |
| --- | --- |
| ①伐採木の活用方法 | 伐採した河川支障木の活用方法及び関連企業の確認。 |
| ②枝葉処理 | 枝葉処理に対する所感及び意見等の確認。 |
| ③伐採作業 | モデル事業の伐採作業に対する所感及び意見の確認。 |
| ④伐採期間 | 伐採期間に対する所感及び意見等の確認。 |
| ⑤民地 | 民地を対象範囲としたことに対する意見の確認。 |
| ⑥採算性 | 一連の作業に要した費用を踏まえた採算性についての確認。 |
| ⑦手続き | モデル事業の手続きに対する意見等の確認（従来方式の公募伐採との比較も含める）。 |
| ⑧その他 | 坂路及び搬入路、伐採制限期間、その他モデル事業に対する意見の確認。 |

※上記調査事項は必要に応じて追加または削除する。